

ONE のインストール方法の種類と確認方法

インストール方法の種類

TREND-ONE、Mercury-ONE のインストール方法には、以下の3種類があります。
ご使用になる環境に合ったインストール方法を選択してください。

スタンドアロン

すべてのファイルを、1台のコンピューターにインストールします。

1台のコンピューターで、現場データを編集します。



サーバークライアント（共同編集あり）

現場データや設定ファイルをサーバーで管理します。

現場データを、複数のユーザーで同時に共同編集できます。



サーバークライアント（共同編集なし）

現場データや設定ファイルをサーバーで管理します。

現場データの共同編集はできません。



インストール方法の種類の確認方法

ご利用中のTREND-ONE、Mercury-ONEの「インストール方法」を確認します。確認方法は以下の2種類です。

1. 「現場管理」で確認する。
2. 「現場管理以外」で確認する。

インストール方法によって、現場データのバックアップ・リストアの手順やサーバーマシンを入れ替える手順が変わります。
※ここでは、TREND-ONEの画面で解説します。

■ 現場管理で確認する

- 1 TREND-ONE、Mercury-ONEのプログラムがインストールされているパソコンで「現場管理」を起動して、ウィンドウのタイトルバーを確認します。



「スタンドアロン」の場合



「現場管理（共同編集あり）」の場合



「現場管理（共同編集なし）」の場合



共同編集ありでは表示モードの「両現場」をクリックすると、現場管理画面が上下に分かれて、上部に「サーバー現場」、下部に「ローカル現場」が表示されます。

■ 現場管理以外で確認する

何らかのトラブルで「現場管理」を起動できなくなった場合などは、以下のいずれかの方法で確認してください。
※ここでは、TREND-ONEの画面で解説します。

- 共同編集あり / 共同編集なし

① TREND-ONE サーバーをインストールしたサーバーマシンのデスクトップ上に

- ・TREND-ONE バックアップツール
- ・TREND-ONE サーバー現場移行ツール

の2種類があるか、ないか



ある場合→共同編集あり

ない場合→共同編集なし

Mercury-ONEの場合は、

- ・Mercury-ONE バックアップツール
 - ・Mercury-ONE サーバ-現場移行ツール
- がデスクトップ上にあります。

② スタートメニューに

[FukuiComputerApplication] —
[TREND-ONE Ver.○ ユーザーマネージャー]

があるか、ないか



ある場合→共同編集あり

ない場合→共同編集なし

Mercury-ONEの場合は

「Mercury-ONE Ver.○ ユーザーマネージャー」です。

- 共同編集なし / スタンドアロン

① スタートメニューに

[FukuiComputerApplication] —
[TREND-ONE Ver.○サーバーからの切り離し・接続]

があるか、ないか



ある場合→共同編集なし

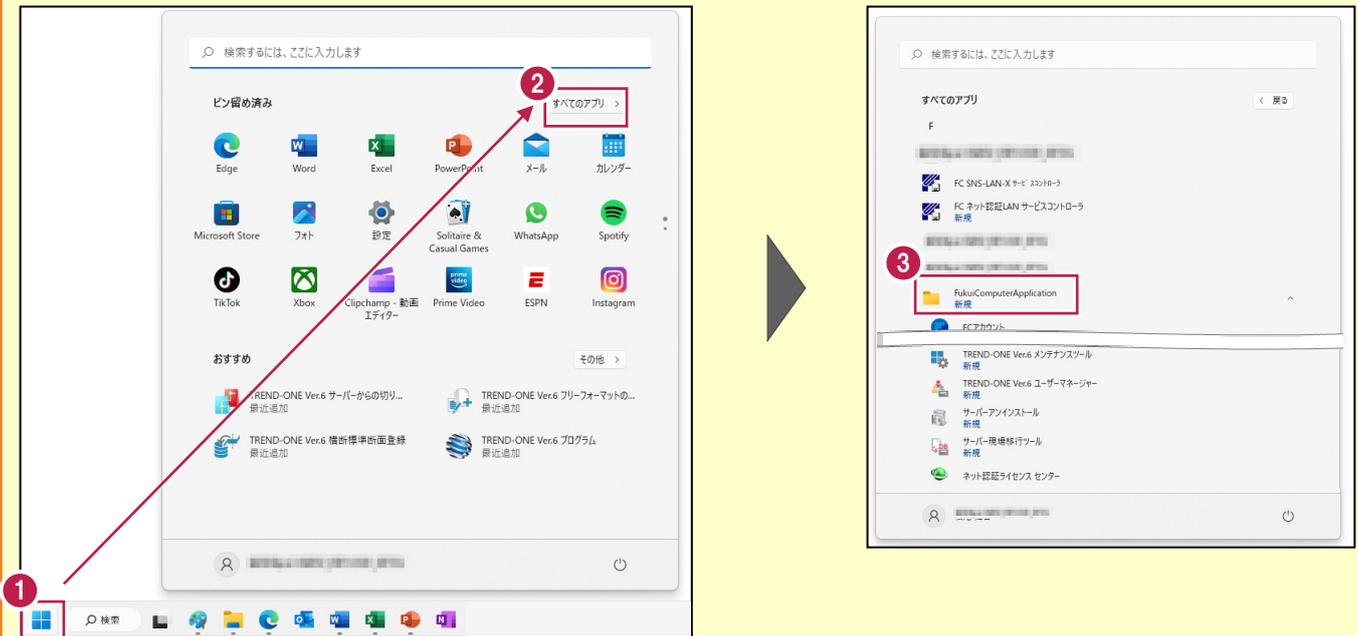
ない場合→スタンドアロン

Mercury-ONEの場合は

「Mercury-ONE Ver.○ サーバーからの切り離し・接続」です。

【補足】 スタートメニューから [FukuiComputerApplication] を確認する手順

- Windows11の場合



- Windows10の場合

